

次期総合計画第1次素案に対するパブリック・コメントの実施結果について

平成22年2月23日(火)から平成22年3月31日(水)まで次期総合計画第1次素案に対するパブリック・コメントを実施しましたが、その結果、21名の方から計26件の御意見をいただきました。

今回寄せられた御意見とこれに対する県の考え方は、次のとおりです。

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
基本的考え方に関する御意見	<p>「地域をともに創る」という考え方はなんとなく理解するが、県庁や市役所にはもうお金がありませんので、コレコレについては皆さんでやって下さいと、県民の役割や責任をもっと明確にすべきである。</p>	<p>社会環境が著しく変化する中で、さらに複雑・多様化する課題に対応していくためには、県民の皆さんを始め、行政や企業、団体などが、それぞれの持つ力を発揮し合い、活力あふれる自立した地域づくりを進めていくことが必要です。</p> <p>次期総合計画の策定に当たりましては、このような考え方に立ち、これからの“とちぎ”づくりについて検討を進めて参ります。</p>
	<p>計画という以上、新たな取組や新しい方針を打ち出して、どのようなことをやっていくのか示して欲しい。</p> <p>県が何をしようとしているのか、何を重点化しようとしているのか分からない。</p>	<p>次期総合計画では、全ての活動の原動力となる「人づくり」を政策の基本に据え、「安全・安心の確保」、「活力の創出」及び「環境立県への挑戦」の3つの視点で施策の重点化を図って参ります。</p> <p>なお、具体的な施策につきましては、今回お示しいたしました第1次素案(計画の総論)を受け、検討を進めて参ります。</p>

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
<p>第1次素案に関する御意見</p> <p>人口減少・少子高齢化 (1頁)</p>	<p>1～2ページの「人口減少・少子高齢化」のグラフがわかりにくい。</p> <p>例えば、年齢3区分別人口の推移と将来見通しのグラフで、文章に「総人口は平成16(2004)年をピークに」とあるが、グラフにその記載がない。年少人口と老年人口の割合が逆転する平成9(1997)年もグラフに記載がない。</p> <p>また、本県の人口の見通しのグラフで、予想値に幅があるがその説明がない。横軸のメモリが不明確。実績値と予測値の間にある点線は2009年10月なのか。</p> <p>全体的に、難しい用語など注釈をいれてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、グラフの記載について工夫をいたしますとともに、難しい用語などには注釈を加えるなど、計画全般にわたり、より分かりやすい表記となるよう努めて参ります。</p>
<p>地域社会・コミュニティの変化 (4頁)</p>	<p>4頁4行目の「子ども会などの地域活動に参加する保護者」とあるが、「育成会」と書くのが正式ではないか。</p> <p>「子ども会」と記載する場合には、子ども会と育成会の差異が解るような書き方をお願いしたい。</p>	<p>御意見を踏まえ、4頁4行目の「子ども会などの地域活動」を「子ども会への支援など地域活動」に修正します。</p>
<p>活力ある産業 (15頁)</p>	<p>地方経済を支えているのは、大規模な自動車産業などではなく、小売店や建設業などの地域に密着した中小企業であるという視点が欠けているのではないか？</p>	<p>県では、地域経済を支える中小企業の活性化に向け、各種施策に取り組んでいるところではありますが、今後とも御意見のような視点を踏まえながら、検討を進めて参ります。</p>

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
具体的な取組に関する御意見	<p>一人ひとりが仲間がいるか、つくれるか、真の絆を育てる環境（保育教育、学校内で、職場で、家庭内で、いろいろな活動の中で）が一番欠けていると思う。</p> <p>一人ひとりが輝く前に、相手の立場を十分に理解し、弱いものへ力をさしのべる発想を育てることが最優先である。</p>	<p>今回いただいた御意見につきましては、第1次素案（計画の総論）を受け、今年度に行う具体的な施策の検討に際して参考とさせていただきます。</p>
	<p>「思いやりのある人づくり」は、あらゆる面で全ての基礎ではないかと考える。</p>	
	<p>人口減少・少子高齢化の進行にどのように対応していくのか、真正面から取り組んでほしい。</p> <p>お年寄りの一人暮らしが増えており、人と人とのつながりが大切になっている。今こそ、地域の支え合いについて、真剣に考えるときである。</p>	
	<p>私の両親が住んでいる地域では、子どもが減り、住民全体が高齢化している。特に、一人暮らしの高齢者が年々増えており、自治会の活動など様々な影響がでてきているようで、地域にとって大変心配なことである。</p> <p>一人暮らしの高齢者はもちろん、地域の人々が安心して暮らせる仕組みや制度をしっかりと整えていくことが大切だと思う。</p>	
	<p>高齢化が急激に進んでいくので、お年寄りが利用しやすい公共交通手段の確保をお願いしたい。</p> <p>高齢者が暮らしやすいまちづくりをお願いしたい。</p>	

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
	<p>少子化対策も大変重要だと思いが、いくつになっても元気で地域に貢献しているお年寄りたくさんいる。</p> <p>そのような人の活動のもととなるのは道である。自転車が、車道を走らなくてもすむような道路をお願いしたい。</p>	
	<p>平成の大合併が進んだが、合併によるメリットはあまり感じられない。バス路線も廃止になったままで、バイパスなどの整備もなかなか進んでいないように感じる。</p> <p>これから高齢化がいつそう進んでいく中、生活に密着したバス路線などが大切になると思う。</p>	
	<p>宇都宮などの都市部の道路も大切だと思うが、地域の道路も大切である。命の道などという言葉も聞かれるように、大切なことだと思う。</p>	
	<p>少子高齢化の流れは劇的には改善されないとと思う。知識や能力を持った高齢者をどう活用するかがポイントになると考える。</p>	
	<p>安心して子どもを産み、育てることができるように、病院（産科、小児科）や保育園などを十分に整えるとともに、さまざまな制度を充実させ、社会全体で子どもを育てていく仕組みづくりが必要だと思う。</p> <p>財政状況は大変厳しいと思いが、こうしたことに優先して取り組んで欲しい。</p>	
	<p>医師不足への対応など、医療の充実に向け、早急に対策を講じてほしい。</p>	
	<p>国ではダムを造るのをやめるといっているが、身近なところではゲリラ豪雨が多発し、那須水害もあったので色々な方法を考えてもらって県民の命と財産を守ってほしい。</p>	

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
	<p>日本全体の人口が減少する中、本県の人口も大きく減少すると予測している。趨勢からはやむを得ないのかもしれないが、このまま人口減少を前提とした計画では、将来に対する夢や希望が持てない。</p> <p>栃木の立地条件を生かして企業誘致を行うとか、住みやすさをアピールし東京など人口集中地からのＩターンを進めるなど、人口増をめざした計画づくりを行い、栃木に住んでいて将来に希望が持てるようにしてほしい。</p>	
	<p>地域経済を活性化するためには地元中小企業の育成が必要であり、地元ベンチャー企業の支援をお願いしたい。</p>	
	<p>栃木県が今後とも活力ある地域として競争力を維持し続けていくためには、産業活性化の基盤となる幹線道路ネットワークの更なる充実が重要であると考えます。</p>	
	<p>地域の活性化のためには、まず雇用を生み出すことが重要である。安心して働ける場の確保に取り組んでもらいたい。</p>	
	<p>今後５年間の県政上での最重要な戦略的ファクタは情報化にある。</p> <p>県が主体性を持って、「つながる社会に変えていく」戦略を打ち出すべきである。「様々な情報を主体的に選択し活用していく」ために県が主導的にどのような政策を取るのか具体的に提示してもらいたい。</p>	

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
	<p>地球環境問題への取組について 持続可能な社会をめざして、いつでも、どこでも、誰でも環境教育・環境学習を、それぞれの年齢層に合わせて推進して欲しい。</p> <p>持続可能な社会をめざして、いつでも、どこでも、誰でも地球環境問題を未然に防止する環境整備を推進して欲しい。</p> <p>持続可能な社会をめざして、再生エネルギーの活用、社会実験を行い推進して欲しい。</p> <p>持続可能な社会をめざす企業や団体などの活動報告・環境報告書が、いつでも、どこでも、誰でも確認できる社会をめざして、推進して欲しい。</p> <p>持続可能な社会をめざすために、ごみ問題について、現代的に「あるべき姿の検討」を確認し、県民、企業や団体などの要望を取り入れる活動を推進、展開して欲しい。</p>	

項 目	意 見 の 内 容	意見に対する考え方
その他の御意見	<p>現在の総合計画「とちぎ元気プラン」の進捗状況はどうか？ 積み残しはどうするのか？</p>	<p>現在の総合計画「とちぎ元気プラン」につきましては、「とちぎ政策マネジメントシステム」による政策評価を毎年度実施し、成果と課題を検証いたしますとともに、施策の進捗状況等を成果指標や関連データ等でお示ししております。</p> <p>上記につきましては、県政白書「とちぎ元気レポート」にて公表いたしております。 本書は、県のホームページでも御覧いただけます。 URL:http://www.pref.tochigi.lg.jp/pref/seisakuhyouka/manejimento/</p> <p>次期総合計画の策定に当たりますには、これらの検証結果等を踏まえながら、具体的な施策について検討を進めて参ります。</p>
	<p>県では、財政再建に取り組んでいるが、総合計画を策定しても新しい事業ができないのではないか。</p>	<p>県では、県政運営の土台となる財政基盤の立て直しを図るとともに、医療・福祉を始めとした安全・安心の確保などの行政課題や、新たな行政ニーズに的確に対応するため、昨年10月に「とちぎ未来開拓プログラム」を策定し、これに基づき財政健全化に向けた取組を進めております。</p> <p>総合計画の策定に当たりますも、プログラムの考え方を活かしながら、施策の優先順位を見極め、限られた行財政資源を有効に活用し、選択と集中による重点化を図って参ります。</p> <p>知事の政権公約であるマニフェストに掲げられた政策につきましても、このような視点に立ち、総合計画の策定を通して、その反映に努めて参ります。</p>
	<p>知事のマニフェストとの関係はどうなっているのか。</p>	